

農地・水・環境保全だより 第12号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

～ 田んぼの生きものキャラクターコンクール 表彰式開催～

子どもたちが、メダカやホタルなどの田んぼに住む生きものを身近に感じ、大切な田んぼや畑が生きものの住みかとなっていることを理解してもらうため、小学生以下の子どもたちを対象に「田んぼの生きものキャラクター」を募集しましたところ、98作品の応募がありました。

厳選なる審査により、10作品の入賞を決定し、平成24年10月21日(日)に三重県総合文化センターで『田んぼの生きものキャラクターコンクール表彰式及び作品展示』を開催し、10名の子どもたちに表彰状を授与しました。

また、表彰式と合わせて『メダカのコタローワンダーランドLIVE in 三重』を開催し、大人も子どもも一緒に三重の農村環境を考えよう！をテーマにメダカのコタロー劇団による環境アニメ紙芝居や環境クイズを行いました。



表彰された子どもたち

【入賞作品】

三重県農村地域資源保全向上委員会委員長賞
園児以下部門

小学校低学年部門

稲葉和音さん



【かめじま】
かめのこうらが島になっています。
島で人や生きものが仲良く遊んでいます。

小学校高学年部門

川瀬碧海さん



【ホトケージョ】
ホトケージョは田んぼのお米をおいしくする
魔法をかけます。

水土里ネットみえ 会長賞
園児以下部門

高橋大也さん



【ミジンコくん】
エビやカニの仲間で、
みんなに食べられて
栄養になります。

藤田一馬さん



【たつまきがえる】
むかし、このかえるが
たつまきをおこしていたと
言われていた。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

小学校低学年部門

森瑞葵さん



【レインちゃん】

梅雨の季節になると、近くの田んぼで、かえるの鳴き声がたくさん聞こえるので、雨と水が大好きなかえるのキャラクターレインちゃんにしました。レインちゃんは、おしゃれが大好きで、雨が降ると葉っぱに座って、雨を眺めています。

小学校高学年部門

後藤良太郎さん



【タガタガ】

つぶらな瞳がかわユイです。

メダカのコタロー劇団賞
園児以下部門

廣山美紅さん



【こどもとんぼのボンボン、おかあさんのヤンヤン、おとうさんのトントン】
とんぼの家族がコンサートを聴いて踊っています。
とんぼのこどもは黒い帽子、おかあさんは赤とピンクのハート模様の帽子、おとうさんはシマシマ帽子をかぶっています。
みんなステッキを持って、おどっているんですよ。

小学校低学年部門

中野花鈴さん



【ケロビ】

ピンクのカエル。ケロビが歌うとみんなが集まるよ。
葉っぱに乗るとどこへでも飛んでいける。
はねると空まで飛べるカエルです

小学校低学年部門

岡和希さん

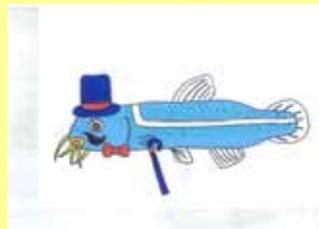


【びりけろん】

かみなりを吸って、電気を作り、悪い虫をやっけます

小学校高学年部門

岡千裕さん



【ドジョウ男爵】

帽子と杖とネクタイをととても大切にしている。
でも忘れんぼうなので、出かけたときに忘れてしまうと、
猛スピードで、どんなところからでも取りに帰ります。

東海農政局「農地・水シンポジウム」開催
～地域の絆・農村の協働力～

去る11月17日（土）に名古屋市中区の東建ホールにおいて、東海三県の農地・水の関係者約380名が参加した農林水産省東海農政局主催の「農地・水シンポジウム」が開催されました。

このシンポジウムは平成19年度からの農地・水の取り組みが地域の共同活動により農地や農業水利などの適正管理と農村環境の向上を図るためのものでその結果、地域コミュニティ機能が維持され地域防災の向上も期待されており、農地・水の取り組みを通じた絆と農村の協働力の重要性を再認識することを目的に東海農政局が初めて開催するものであった。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

東海農政局森多可志局長の開催挨拶の後、農研機構農村工学研究所の遠藤和子氏が「農村協働力による地域活動の活性化」と題し、農村協働力の形成が住民活動の活性化・地域の活性化につながることを講演され、次に水土里ネット立梅用水の高橋幸照氏が「農地・水環境保全活動と地域づくり～農は協働力を活かす～」と題し、多気町勢和地域の農地・水環境保全活動の取組事例を報告、続いて東海農政局土地改良技術事務所の堺政弘氏が「保全技術について（補修方法・補修の効果等）」と題し、簡単な水路補修についてワンポイント研修を行った。



高橋幸照氏による取組事例報告

引き続き、表彰式に移り東海農政局長賞、農村振興技術連盟賞、中日新聞社賞の受賞団体の発表と活動内容が映像等で紹介された後、受賞された9つの活動組織が壇上に上がり表彰状が授与された。

東海農政局長賞
多気町勢和地域資源保全・活用協議会（多気町）



全国農村振興技術連盟賞
上ノ村環境保全プロジェクト（津市）

中日新聞社賞
ななわ農地・水・環境保全会（桑名市）



表彰式の後、東海農政局伊藤剛嗣局次長の閉会の挨拶があり、盛会裡に閉会した。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

東海三県の受賞団体

賞名	組織名	県名	市町村名
東海農政局長賞	竹原農地・水・環境保全会	岐阜県	下呂市
	榎前環境保全会	愛知県	安城市
	多気町勢和地域資源保全・活用協議会	三重県	多気町
全国農村振興 技術連盟賞	おっぱら・水・ドンボの里	岐阜県	高山市
	奥池地域保全隊	愛知県	大府市
	上ノ村環境保全プロジェクト	三重県	津市
中日新聞社賞	小川環境保全の会	岐阜県	郡上市
	森津地域資源保全隊	愛知県	弥富市
	ななわ農地・水・環境保全会	三重県	桑名市

事務局からのお知らせ

～三重県農地・水・環境保全向上対策“みえのつどい2012”の案内～

毎年開催しています“みえのつどい2012”は、平成25年1月14日（月・祝）三重県総合文化センター 中ホール他にて行います。

このイベントは、活動組織の皆さん一同に集まっていただき、活動の質的向上を図る目的で実施しており、今回もいろいろとプログラムを企画しておりますので、是非多くの皆さんで参加して下さい。



“みえのつどい2011”より

～体制整備構想(案)と体制整備構想について～

平成24年4月より新たな農地・水がスタートしましたが、体制整備構想(案)、体制整備構想については旧交付金要領により平成20年度以降に採択された活動組織については体制整備構想(案)、体制整備構想を作成する必要があります。

○体制整備構想(案)

協定締結年度から起算して3年目の年度末までに地域協議会へ届出
～平成22年度採択の活動組織が対象

○体制整備構想

協定締結年度から起算して5年目の年度末までに地域協議会へ申請し承認を得る
～平成20年度以降採択の活動組織が対象

体制整備構想(案)又は体制整備構想が作成されなかった場合、協定認定年度に遡って交付金を返還しなければならないとなっていますので必ず年度末までに地域協議会へ提出して下さい。

なお、体制整備構想(案)を策定することなく体制整備構想を取りまとめることも可能であるし、3年度目や4年度目に前倒して体制整備構想を取りまとめることも可能です。

・投稿募集のご案内

活動組織のみなさまの活動状況や県内の他の組織にアピールしたいこと、苦労話などがありましたら、事務局までどんどん投稿してください。お待ちしております。

投稿先 〒514-0006
津市広明町330番地（三重県土地改良事業団体連合会内）
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会